

メディア関係者各位

2018年1月25日

事故後の未来を考えるために  
原子力発電所事故の過去、現在、未来を描く写真展  
「Exposure / Everlasting -30年後に見えなくなるもの」を大阪市福島区にて開催

大阪在住の写真家、小原一真（おぼらかずま）が2015年より取り組むドキュメンタリープロジェクトの写真展開催のお知らせです。

小原は2011年6月より福島第一原発の取材を始め、その後、事故の影響を引き継いでいくこれからの世代を考えるために、32年前にチェルノブイリ原子力発電所事故を起こしたウクライナへと向かいました。写真展では、事故後にウクライナで生まれた3人に焦点を当てながら、原発事故の過去、現在、そして未来を描きます。「Exposure」では母胎で被曝し、甲状腺の病気を患ったマリアの30年の半生を通し、目には見えない彼女の障害、痛みについて想いをめぐらせます。「Everlasting」では、収束作業員のために新たに作られた町、スラブティチ市で生まれ育ち、作業員として働く若き夫婦、パーシャ、ナレシュカの日常を通して、収束・廃炉作業とともに生きる人々について考えます。

原発事故は、未来に何を残し、そして、それはどのようにして引き継がれていくのか。本写真展を通して、現在の私たち、そして、これからの未来について考えるきっかけになることを願います。

本作品は、世界報道写真展2016「人々の部」1位を受賞し、世界45カ国で展示されてきました。同時に、フランスやスペイン、ギリシャを始めとした国際的な写真、アートフェスティバルにも召喚され、今回の大阪での展示は、国内で2回目となるライトボックスを用いた展示となります。

»報道関係者向け内覧会

2019年1月31日（木） 13:00- 19:00

»会場 フォトギャラリー・サイ 1階・2階 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲2-7-19

»日時/開館、休館日について

2019年2月2日（土） - 3月3日（日）

[休館日] 月・木 [火・水・金] 13:00- 19:00 [土] 10:00- 19:00 [日] 10:00- 17:00

»お問い合わせ先（小原）

080-3125-5346 / [kazuma924@gmail.com](mailto:kazuma924@gmail.com) / <http://kazumaobara.com/>

小原一真（おぼらかずま）プロフィール

1985年岩手県生まれ。写真家、ジャーナリスト。写真集に東日本大震災と福島第一原発・原発作業員を記録した『RESET』（2012/ラースミュラー出版/スイス）、第二次世界大戦における日本の子どもたちの歴史を表現した『silent histories』（2015）、チェルノブイリの過去、現在、未来を描いた『Exposure』（2017）がある。Silent Histories は、米TIME誌Best Photo Bookに選出される。世界報道写真賞受賞を始め、国際的な賞を多数受賞。 <http://kazumaobara.com/>